

2022年7月28日（木）
国際芸術祭「あいち」組織委員会
電話：052-971-3111（代表）

国際芸術祭「あいち2022」パフォーミングアーツ
バック・トゥ・バック・シアター関連イベント

『ブルース・グラッドウィンとのオンライントーク』の申込受付を開始します！

国際芸術祭「あいち2022」のパフォーミングアーツでは、国内外の先鋭的な演劇、音楽、ダンスなどの舞台芸術作品を上演します。

10月9日（日）には、参加アーティストのバック・トゥ・バック・シアターの芸術監督であるブルース・グラッドウィンをゲストに迎え、オンラインでのトークイベントを開催します。是非御参加ください。

1 概要

(1) 日時

2022年10月9日（日）午後7時30分から午後8時30分頃まで

(2) 場所

オンライン（Zoom ウェビナーを使用）

※参加 URL は申込みいただいた方に別途送付（10月初旬頃予定）。

(3) ゲスト

ブルース・グラッドウィン（バック・トゥ・バック・シアター芸術監督）

(4) 司会（予定）

前田圭蔵（国際芸術祭「あいち2022」パフォーミングアーツ・アドバイザー）

(5) 料金

無料

(6) 定員

100名

(7) 申込み

受付開始：7月29日（金）午前11時（締切：10月8日（土）午後10時まで）

申込 URL：<https://reserva.be/backtobacktheatretalk2022>



『ブルース・グラッドウィン
とのオンライントーク』
申込 URL

2 略歴

ブルース・グラッドウィン

オーストラリアのアーティスト兼舞台演出家。1999年よりバック・トゥ・バック・シアターの芸術監督を務め、『メンタル』（1999）、『ドッグ・ファーム』（2000）、『ソフト』（2002）、『スモール・メタル・オブジェクト』（2005）、『フード・コート』（2008）、『THE DEMOCRATIC SET』（2009）、『ガネーシャ VS. 第三帝国』（2011）、『SUPERDISCOUNT』（2013）、『LADY EATS APPLE』（2016）、『ODDLANDS』（2017）、『THE SHADOW WHOSE PREY THE HUNTER BECOMES』（2019年9月初演）を演出。2022年、劇団初の長編映画作品『SHADOW』が、サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）にてプレミア上映され、同フェスティバルのオーディエンス賞を受賞。



©Cherine Fahd for Carriageworks

バック・トゥ・バック・シアターでのグラッドウィンによる演出作品は世界有数の現代芸術祭や文化施設での公演をはじめとした大規模ツアーを行っている。2015年、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツの「演劇における優れた業績賞」を受賞。

バック・トゥ・バック・シアター

知的障害のある俳優を中心に、30年以上オーストラリアを拠点に活動を続ける劇団。2013年フェスティバル/トーキョー『ガネーシャ VS. 第三帝国』で初来日。2018年東京芸術劇場主催『スモール・メタル・オブジェクト』で再来日。社会の闇の部分に鋭く照射する作品は世界的に高い評価を得ている。インクルーシブ・シアターの先駆けであり「息苦しい現代社会」でいかにしたたかに生きることが可能かを常に問い続ける稀有な創作集団が見せるフィクションの力は、私たちへの大きな投げかけとなる。

3 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

（愛知県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内）

住所：〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電話：052-971-3111（9:00～17:30 土日祝休み、会期中は無休）

FAX：052-971-6115

URL：<https://aichitriennale.jp/>